

別紙様式

「児童生徒、もしくは教職員のコミュニケーション能力の育成・向上」に関する実践事例

学校名	下松市立豊井小学校
テーマ	伝え合う力を養う研修の在り方 ～外部講師を招いて～
対象者 (学年)	児童・教職員・保護者
<p>内容 (具体的な取組)</p> <p>(1) ねらいと展開</p> <p>① ねらい 様々な方面の外部講師を積極的に招くことで、児童・教職員・保護者が共に「伝え合う力」について考え、日々の実践に取り入れることができるようにする。</p> <p>② 展 開<平成19年度実践> 右田俊博先生…小学校教諭。国語科を通した「伝え合う力」を養う授業研究の在り方について学ぶ。年3回招へい。(対象：児童・教師) 夏井いつき氏…女性俳人。俳句を作り紹介し合う「句会ライブ」を行う。 夏井氏の企画力や巧みな話術を学ぶ。参観日と兼ね9月に実施。 (対象：児童・教師・保護者) 野口芳宏先生…国語科指導実践者。授業や教師の在り方について学ぶ。元千葉大学附属小学校教諭。11月に市内への公開研修会として実施。 (対象：児童・教師)</p> <p>* 平成20年度は、井上需弑先生(聖光高等学校教頭)より「聴き合い学び合う授業の在り方」について、4回にわたり指導を受ける。 また、白石範孝先生(筑波大学附属小学校教諭)より、「国語科授業における学び合いの在り方」について指導を受ける。</p> <p>(2) 実践の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 右田先生…「一人学び」から「共学び」へのつながりを中心に国語科で授業研究を行い、「伝え合う力」の育成に役立つフリートークを全校で取り組み始めた。 ・ 夏井氏 …児童だけでなく保護者・教師も共に参加し、俳句作りを実体験した。保護者対象のアンケートを実施し、伝え合うことの大切さを意識付けた。 ・ 野口先生…「聞く力の育成」にテーマを絞り、講師による授業(低学年対象)や教師を対象とした講演(市内教員約30名参加)から、聞くことの大切さを学ぶことができた。 <p>(3) 成果及び課題</p> <p>① 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 右田先生の指導から、「一人学び」により個々が課題をもち、思いをふくらませて授業に臨めば、全体での話合いがより深まったものになることを確認することができた。 また、フリートークの導入により、自分の思いを自由に述べ合う場が増え、道徳教育の観点からも互いを認め合う人間関係づくりが築かれつつある。 ・ 夏井氏による「句会ライブ」では、ねらいに迫るためのテーマの投げかけ方や無駄のない話術を学ぶことができた。 ・ 野口先生からは、授業に臨む児童の学習の心構えや教師の力量を高めるポイントについて学ぶことができた。(姿勢・語彙力・メモ力の重要性を確認) <p>② 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3名の先生方から学んだことを日々の指導に生かすために研修構想図や話すこと・聴くことの系統表を作成した。今後、実践を積み重ね、よりよいコミュニケーション能力の育成・向上を図っていきたい。 	
学校 HP アドレス	http://www16.ocn.ne.jp/~toyoi/